opusdei.org

チャリティの創造力

2021/05/06

(ビデオ:26分、日本語字幕を設定 してください)

黙想のためのテキスト

2017年2月14日、フェルナンド・オカリス師の司牧書簡の27番と31.2番。

27. 聖ラファエル職と聖ガブリエル 職の形成の手段において、精神的あ るいは身体的な慈善のわざを推進し ていくのは良いことです。それは教 会の変わらない教えであり、聖ホセ マリアが実践し、教皇フランシスコ が模範と言葉で勧めて来られたこと です。連帯に関わる個人的な活動や 企画、困っている人たちへの奉仕、 社会的な責任は、応急的や副次的な ものではなく、福音の中心的な教え です。例えば、コースや講演を通し て教会の社会教説の理解を深めるこ とは、社会の過剰な不均衡の背景を 理解する助けになるでしょう。

31.2. これらの優先点とともに、皆 が、現代の人々、特に弱い人たちの 窮乏、痛みや苦しみを感じ取る広い 心 一主のみ心と同じぐらい広い心に してくださるよう主に願います― を 持つことが急務であることを強調し たいと思います。現代の貧しさは 色々な形をしています。無視されて いる病人や老人、多くの人が見放さ れていると感じる孤独感、難民たち の悲劇、多くの場合天に向かって叫 ぶ不正の結果として人類の大きな部 分が味わっている貧困などです。こ のいずれに対しても無関心であって はなりません。私の子どもたち皆 が、困っているすべての兄弟たちに 神のいつくしみの香油を届けようと いう「愛の夢」[32]を実現させよう としていることを知っています。 「私たちのあの友が言っていた。 『貧しい人々こそ、私にとって最良 の霊的読書であり、祈りの主たる動 機です。彼らを見ると心が痛みま す。その人々と共におられるキリス

トを思って辛くなります。そして、 心の痛みを感じることから、私が主 とその人々を愛していることが分か ります』」(聖ホセマリア、『拓』 827番)。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <u>https://opusdei.org/ja-jp/article/</u>charity-souzouryoku/ (2025/11/25)